

平成 28 年度都道府県及び生活習慣病検診等管理指導協議会の活動状況調査  
調査結果及び評価結果一覧

1-1. 調査 1 精度管理指標の把握状況に関する調査（平成 28 年度実施体制）

※ ●事業評価のためのチェックリスト（単位：％）

	胃がん		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん		※
	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	
回答数：45都道府県(肺がん個別検診実施は43都道府県) 肺がん検診では、全項目で「胸部エックス線受診者/喀痰細胞診受診者/総受診者」別に把握・集計できていれば○とする											
<b>1. 受診者の把握</b>											
(1) 平成28年度の対象者数（推計を含む）を把握しましたか （胃がん検診では、胃部内視鏡/胃エックス線検査両方の対象者数を把握した場合のみ○とする）	73.3	64.4	75.6	64.4	75.6	62.8	75.6	64.4	75.6	66.7	●
(2) 平成26年度の受診者数を把握しましたか	100	91.1	100	91.1	95.6	86.0	100	91.1	100	93.3	●
(2-1) 平成26年度の受診者数（率）を性別・年齢階級別に集計しましたか	86.7	82.2	86.7	82.2	84.4	79.1	86.7	82.2	86.7	84.4	●
(2-2) 平成26年度の受診者数（率）を市区町村別に集計しましたか	100	91.1	100	91.1	95.6	86.0	100	91.1	100	93.3	●
(2-3) 平成26年度の受診者数を検診機関別に集計しましたか	44.4	24.4	42.2	20.0	44.4	25.6	44.4	24.4	44.4	22.2	●
(2-4) 平成26年度の受診者数を検診受診歴別 <sup>注1)</sup> に集計しましたか	66.7	62.2	64.4	60.0	64.4	58.1	66.7	62.2	66.7	62.2	●
<b>2. 要精検率の把握</b>											
肺がん検診では、全項目で「胸部エックス線受診者/喀痰細胞診受診者/総受診者」別に把握・集計できていれば○とする											
(1) 平成26年度の要精検率を把握しましたか	100	91.1	100	91.1	95.6	86.0	100	91.1	100	93.3	●
(1-1) 平成26年度の要精検率を性別・年齢階級別に集計しましたか	86.7	82.2	86.7	82.2	84.4	79.1	86.7	82.2	86.7	82.2	●
(1-2) 平成26年度の要精検率を市区町村別に集計しましたか	100	91.1	100	91.1	95.6	86.0	100	91.1	100	91.1	●
(1-3) 平成26年度の要精検率を検診機関別に集計しましたか	42.2	20.0	42.2	20.0	42.2	20.9	42.2	22.2	42.2	20.0	●
(1-4) 平成26年度の要精検率を検診受診歴別 <sup>注1)</sup> に集計しましたか	57.8	55.6	55.6	53.3	55.6	51.2	57.8	55.6	57.8	53.3	●
<b>3. 精検受診率の把握</b>											
肺がん検診では、全項目で「胸部エックス線受診者/喀痰細胞診受診者/総受診者」別に把握・集計できていれば○とする											
(1) 平成26年度の精検受診率を把握しましたか	100	91.1	100	91.1	93.3	83.7	100	91.1	100	93.3	●
(1-1) 平成26年度の精検受診率を性別・年齢階級別に集計しましたか	86.7	82.2	86.7	82.2	84.4	79.1	86.7	82.2	86.7	84.4	●
(1-2) 平成26年度の精検受診率を市区町村別に集計しましたか	100	91.1	100	91.1	93.3	83.7	100	91.1	100	93.3	●
(1-3) 平成26年度の精検受診率を検診機関別に集計しましたか	42.2	22.2	40.0	20.0	42.2	20.9	42.2	22.2	42.2	22.2	●
(1-4) 平成26年度の精検受診率を検診受診歴別 <sup>注1)</sup> に集計しましたか	57.8	55.6	55.6	53.3	55.6	51.2	57.8	55.6	57.8	57.8	●
(2) 平成26年度の精検未把握率を把握しましたか	84.4	75.6	84.4	75.6	82.2	72.1	84.4	75.6	84.4	77.8	●
解説：未把握は、精検受診の有無が分からないもの、及び（精検受診したとしても）精検結果が正確に分からないもの全て											
<b>4. 精密検査結果の把握</b>											
肺がん検診では、全項目で「胸部エックス線受診者/喀痰細胞診受診者/総受診者」別に把握・集計できていれば○とする											
(1) 平成26年度のがん発見率を把握しましたか	100	91.1	100	91.1	93.3	83.7	100	91.1	100	93.3	●
(1-1) 平成26年度のがん発見率を性別・年齢階級別に集計しましたか	86.7	82.2	86.7	82.2	84.4	79.1	86.7	82.2	86.7	82.2	●
(1-2) 平成26年度のがん発見率を市区町村別に集計しましたか	100	91.1	100	91.1	93.3	83.7	100	91.1	100	93.3	●
(1-3) 平成26年度のがん発見率を検診機関別に集計しましたか	42.2	20.0	40.0	17.8	42.2	20.9	42.2	22.2	42.2	20.0	●
(1-4) 平成26年度のがん発見率を検診受診歴別 <sup>注1)</sup> に集計しましたか	60.0	57.8	57.8	55.6	57.8	53.5	60.0	57.8	62.2	60.0	●
(1-5) 平成26年度のがん発見率を検診方法別（マンモグラフィ単独/視触診・マンモグラフィ併用）に集計しましたか							75.6	68.9			●

	胃がん		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん		※
	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	
回答数: 45都道府県(肺がん個別検診実施は43都道府県) (2) 平成26年度の原発がんに対する早期がん割合を把握しましたか 解説: 肺がんでは、臨床病期Ⅰ期がん割合、乳がんでは臨床病期Ⅰ期までのがん割合	84.4	80.0	84.4	80.0	82.2	76.7	84.4	80.0			●
(2-1) 平成26年度の早期がん割合を性別・年齢階級別に集計しましたか	73.3	68.9	75.6	71.1	73.3	67.4	77.8	73.3			●
(2-2) 平成26年度の早期がん割合を市区町村別に集計しましたか	77.8	73.3	80.0	75.6	75.6	69.8	80.0	75.6			●
(2-3) 平成26年度の早期がん割合を検診機関別に集計しましたか	33.3	17.8	31.1	15.6	33.3	18.6	31.1	17.8			●
(2-4) 平成26年度の早期がん割合を検診受診歴別 <sup>注1)</sup> に集計しましたか	55.6	53.3	53.3	51.1	55.6	51.2	60.0	57.8			●
(2-5) 平成26年度の早期がん割合を検診方法別(マンモグラフィ単独/視触診・マンモグラフィ併用)に集計しましたか							68.9	62.2			●
(3) 平成26年度の粘膜内がん(胃がん、大腸がん)・非浸潤がん(乳がん)を区別しましたか	80.0	73.3	80.0	73.3			77.8	71.1			●
(4) (子宮頸がん検診)平成26年度の上皮内病変(CINなど)数を区分毎に集計しましたか 解説: 病変は①~④の区分毎に分けて集計すること ① CIN3または上皮内腺がん(AIS)の数 ② CIN2の数 ③ CIN1の数 ④ 腺異形成の数									71.1	66.7	●
(4-1) (子宮頸がん検診)平成26年度の上皮内病変(CINなど)数を年齢階級別に集計しましたか									73.3	68.9	●
(4-2) (子宮頸がん検診)平成26年度の上皮内病変(CINなど)数を市区町村別に集計しましたか									75.6	71.1	●
(4-3) (子宮頸がん検診)平成26年度の上皮内病変(CINなど)数を検診機関別に集計しましたか									28.9	15.6	●
(4-4) (子宮頸がん検診)平成26年度の上皮内病変(CINなど)数を検診受診歴別 <sup>注1)</sup> に集計しましたか									51.1	48.9	●
(5) (子宮頸がん検診)平成26年度の発見がんに対する微小浸潤がん割合を把握しましたか 解説: 微小浸潤がんは病期Ⅰa1及びⅠa2期のもの									71.1	66.7	●
(5-1) (子宮頸がん検診)平成26年度の微小浸潤がん割合を年齢階級別に集計しましたか									71.1	66.7	●
(5-2) (子宮頸がん検診)平成26年度の微小浸潤がん割合を市区町村別に集計しましたか									68.9	64.4	●
(5-3) (子宮頸がん検診)平成26年度の微小浸潤がん割合を検診機関別に集計しましたか									26.7	17.8	●
(5-4) (子宮頸がん検診)平成26年度の微小浸潤がん割合を検診受診歴別 <sup>注1)</sup> に集計しましたか									51.1	48.9	●
(6) 平成26年度の陽性反応適中度を把握しましたか	100	91.1	100	91.1	93.3	83.7	100	91.1	100	93.3	●
(6-1) 平成26年度の陽性反応適中度を性別・年齢階級別に集計しましたか	86.7	82.2	86.7	82.2	84.4	79.1	86.7	82.2	86.7	84.4	●
(6-2) 平成26年度の陽性反応適中度を市区町村別に集計しましたか	100	91.1	100	91.1	93.3	83.7	100	91.1	100	93.3	●
(6-3) 平成26年度の陽性反応適中度を検診機関別に集計しましたか	42.2	20.0	40.0	17.8	42.2	20.9	42.2	20.0	42.2	20.0	●
(6-4) 平成26年度の陽性反応適中度を検診受診歴別 <sup>注1)</sup> に集計しましたか	57.8	55.6	55.6	53.3	55.6	51.2	57.8	55.6	57.8	57.8	●
(6-5) 平成26年度の陽性反応適中度を検診方法別(マンモグラフィ単独/視触診・マンモグラフィ併用)に集計しましたか							73.3	71.1			●
(7) 平成26年度の発見がんについて追跡調査を実施しましたか	26.7	24.4	26.7	24.4	26.7	23.3	26.7	24.4	24.4	22.2	●
(7-1) 平成26年度の発見がんの追跡所見・病理所見について把握しましたか	24.4	22.2	24.4	22.2	24.4	20.9	24.4	22.2	22.2	20.0	●
(7-2) 平成26年度の発見がんの予後調査(生存率・死亡率の分析など)を実施しましたか 解説: この項目は、現在のがん部会の体制では容易でない都道府県も多いが、がん検診の精度管理という点から言えば本来は必要である	6.7	6.7	6.7	6.7	8.9	7.0	6.7	6.7	6.7	6.7	●

回答数: 45都道府県		胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん	※
<b>5. 偽陰性例（がん）の把握 検診の実施年度は問いません</b>							
以下の項目は、現在のがん部会の体制では容易でない都道府県が多いが、がん検診の精度管理という点から言えば本来は必要である							
(1)	（受診者の追跡調査や地域がん登録等により）検診受診後の偽陰性例を把握しましたか	4.4	4.4	4.4	2.2	2.2	●
解説： 検診受診時には陰性であったが、その後次回の検診までに、検診以外で発見されたがん（基本的には1年未満に発見された胃がん・大腸がん・肺がん、2年未満に発見された乳がん・子宮頸がん）							
(2)	偽陰性例の把握のために、地域がん登録のデータを活用しましたか	0	0	0	0	0	●
(3)	検診受診後1年以上経過してから発見された胃がん・大腸がん・肺がん、2年以上経過してから発見された乳がん、子宮頸がんを把握しましたか	2.2	2.2	4.4	2.2	2.2	●
解説： 住民検診受診後、規定された次回の検診（基本的には、胃・大腸・肺がん検診は1年後、乳・子宮頸がん検診は2年後）を受けずに、検診以外で発見されたがん							
<b>6. 不利益の調査 検診の実施年度は問いません</b>							
以下4項目は次のような方法によって把握が可能である							
<ul style="list-style-type: none"> <li>厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」の「偶発症の有無別人数」欄に全ての市区町村のデータを集計している</li> <li>主要な医療機関（検診や、精密検査を担当する機関）に、検診対象者の検査・治療における偶発症を報告してもらうための依頼文書<sup>注2)</sup>を送付し、その後報告されたものを集計している</li> </ul>							
(1)	検診受診後6ヶ月（1年）以内の死亡者を把握しましたか	42.2	42.2	42.2	42.2	42.2	●
解説： 検査あるいは治療での偶発症によるもの。ただし、原疾患の悪化によるものは除く							
(2)	精密検査による偶発症を把握しましたか	51.1	51.1	51.1	51.1	51.1	●
(2-1)	消化管穿孔例（胃がん）、腸管穿孔例（大腸がん）、精密検査に伴う気胸や感染症（肺がん）、治療が必要な中等度以上の出血例（乳がん・子宮頸がん）を把握しましたか	31.1	33.3	31.1	31.1	31.1	●
(2-2)	その他の重要な偶発症を把握しましたか	33.3	35.6	33.3	33.3	33.3	●
解説： 入院治療を要するもの（例：前投薬起因性ショック、輸血や手術を要する程度の消化管出血、腹膜炎（胃がん、大腸がん）、経皮的肺穿刺や気管支生検による多量出血（肺がん）、検査後の骨盤内感染症（子宮頸がん）、穿刺吸引細胞診や針生検による感染症（乳がん）等）							

注1) 初回受診者及び非初回受診者等の受診歴別：初回受診者の定義は、過去3年に受診歴がない者（胃がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん）、前年に受診歴がない者（肺がん）

注2) 依頼文書の雛型は「自治体のためのがん検診精度管理支援のページ」<http://nxc.jp/nccscr-commu/>に掲載しています

【注意事項】

- 平成28年度に実施された内容（実績）に基づき、回答期間内に実施した場合は○、平成29年8月末日以降に確実な実施予定があるものは△、未実施かつ今後も実施予定が無い場合は×と回答していただくようお願いしましたが、本調査結果では○の実施率のみ集計しています。
- 市区町村別、検診機関別等の設問では、全ての市区町村あるいは検診機関で実施している場合のみ○とご回答いただきました。なお、本調査における検診機関とは、実際に検診を行う個々の検診機関（医療機関）を指します。
- 胃がん検診については、胃内視鏡検査/胃部エックス線検査で共に体制を満たしている場合のみ○と回答していただきました。（都道府県全体で胃部エックス線検査のみ実施している場合は、胃部エックス線検査の実施体制について回答をお願いします。）
- プロセス指標の集計に関する設問では、今年度調査に限り、検診方式（集団、個別検診）別に集計してなくても全体（集団+個別）の値を集計している場合には集団検診を○、個別検診を×と回答していただきました。

【本調査の対象年度について】

平成28年度のがん検診ご担当者把握可能な最新年度を想定し、下記を対象としました。

- 平成28年度の検診対象者
- 平成26年度の検診のプロセス指標<sup>※※</sup>

※※ 各都道府県の方針により、平成25年度のデータ（最新の地域保健・健康増進事業報告の公表値）や平成27年度のデータを集計・評価している場合もあり、本調査ではこの場合も可としています。

1-2. 調査 2 事業評価の実施状況に関する調査（平成 28 年度活動状況）

※ ●事業評価のためのチェックリスト（単位：％）

回答数：45都道府県		胃がん		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん		※
		集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	
<b>7. 生活習慣病検診等管理指導協議会の組織・運営（平成28年度実施体制）</b>												
(1)	がん部会は、保健所、医師会、がん検診関連学会に所属する学識経験者、臨床検査技師等の、がん検診に係わる専門家によって構成されていますか	95.6		95.6		95.6		95.6		95.6		●
解説：全ての関係者が揃っているのが望ましいが、少なくとも医師会の参加が無い場合は×とする												
(2)	がん部会は、市区町村が策定した検診実施計画/検診体制等について、検診が円滑に実施されるよう、広域的見地から医師会、検診機関、精密検査機関等と調整を行っていましたか	75.6		73.3		75.6		75.6		75.6		●
(3)	平成28年度のがん部会を開催しましたか	88.9		84.4		86.7		84.4		86.7		●
(4)	年に1回以上、定期的に生活習慣病検診等従事者講習会を開催しましたか	84.4		73.3		80.0		75.6		80.0		●
解説：生活習慣病検診等管理指導協議会から委託を受けて外部の機関(例：対がん協会支部など)が行っている場合は○とする												

※ ●事業評価のためのチェックリスト（単位：％）

回答数：45都道府県(肺がん個別検診実施は43都道府県)		胃がん		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん		※
		集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	
<b>8. 事業評価に関する検討（平成28年度実施体制）</b>												
(1)	チェックリスト（平成28年度検診分）に基づく検討を実施しましたか	80.0	77.8	80.0	77.8	80.0	79.1	80.0	77.8	80.0	77.8	●
	(1a) (1)はがん部会として実施しましたか	64.4	57.8	60.0	55.6	62.2	55.8	60.0	55.6	62.2	55.6	
(1-1)	個々の市区町村のチェックリスト（平成28年度検診分）について把握・検討しましたか	77.8	77.8	75.6	75.6	75.6	76.7	75.6	75.6	75.6	75.6	●
	(1-1a) (1-1)はがん部会として実施しましたか	60.0	53.3	55.6	51.1	57.8	53.5	55.6	51.1	57.8	51.1	
(1-2)	個々の検診機関のチェックリスト（平成28年度検診分）について把握・検討しましたか	51.1	24.4	51.1	24.4	51.1	25.6	51.1	26.7	51.1	26.7	●
	(1-2a) (1-2)はがん部会として実施しましたか	46.7	17.8	44.4	17.8	46.7	18.6	44.4	20.0	46.7	20.0	
(1-3)	都道府県のチェックリスト（平成28年度検診分）について、把握・検討しましたか	62.2	60.0	62.2	60.0	62.2	60.5	62.2	60.0	62.2	60.0	
	(1-3a) (1-3)はがん部会として実施しましたか	40.0	37.8	40.0	37.8	40.0	37.2	40.0	37.8	40.0	37.8	
(2)	要精検率等のプロセス指標（平成26年度検診分）に基づく検討を実施しましたか	88.9	86.7	88.9	86.7	88.9	88.4	88.9	86.7	88.9	86.7	●
	(2a) (2)はがん部会として実施しましたか	80.0	75.6	77.8	73.3	77.8	74.4	77.8	73.3	80.0	75.6	
(2-1)	プロセス指標（平成26年度検診分）について、全国数値との比較や、各市区町村間、検診機関間でのばらつき確認等の検証を実施しましたか	84.4	80.0	84.4	80.0	82.2	79.1	84.4	80.0	84.4	80.0	●
	(2-1a) (2-1)はがん部会として実施しましたか	73.3	68.9	71.1	66.7	71.1	67.4	71.1	66.7	73.3	68.9	
(2-1-1)	市区町村のプロセス指標（平成26年度検診分）について、各市区町村間でのばらつき確認等の検証を実施しましたか	84.4	77.8	84.4	77.8	82.2	76.7	84.4	77.8	84.4	77.8	
	(2-1-1a) (2-1-1)はがん部会として実施しましたか	73.3	66.7	71.1	64.4	71.1	65.1	71.1	64.4	73.3	66.7	
(2-1-2)	検診機関のプロセス指標（平成26年度検診分）について、各検診機関間でのばらつき確認等の検証を実施しましたか	46.7	28.9	46.7	28.9	46.7	27.9	46.7	28.9	46.7	28.9	
	(2-1-2a) (2-1-2)はがん部会として実施しましたか	40.0	22.2	37.8	20.0	40.0	20.9	37.8	20.0	40.0	22.2	
(2-2)	プロセス指標（平成26年度検診分）において問題が認められた市区町村から、聞き取り調査等を実施しましたか <sup>注3)</sup>	62.2	57.8	60.0	55.6	60.0	55.8	57.8	53.3	60.0	55.6	●
(2-3)	プロセス指標（平成26年度検診分）において問題が認められた検診機関から、聞き取り調査等を実施しましたか <sup>注3)</sup>	20.0	13.3	20.0	13.3	20.0	14.0	20.0	13.3	20.0	13.3	●
(3)	チェックリスト（平成28年度検診分）やプロセス指標（平成26年度検診分）において問題が認められた検診機関に対して、実地による調査・指導等を実施しましたか <sup>注3)</sup>	17.8	11.1	17.8	11.1	17.8	11.6	17.8	11.1	17.8	11.1	●
解説：聞き取り調査だけで十分改善が期待できる場合には、(十分な改善が期待できない場合に実地調査・指導を行う体制ができていれば)実際に実地調査・指導を行ってなくても○とする												
(4)	実地調査等により不適正な検診機関が認められた場合には、市区町村に対して委託先の変更を助言するなど、適切に対応しましたか <sup>注3)</sup>	11.1	8.9	11.1	8.9	11.1	9.3	11.1	8.9	11.1	8.9	●

	胃がん		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん		※
	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	
回答数: 45都道府県(肺がん個別検診実施は43都道府県)											
<b>9. 事業評価の結果に基づく指導・助言 (平成28年度実施体制)</b>											
(1) 事業評価の結果に基づき、指導・助言等を実施しましたか	73.3	60.0	75.6	62.2	73.3	60.5	73.3	60.0	75.6	62.2	●
(1-1) 事業評価の結果を報告書に取りまとめ、市区町村や検診機関に配布しましたか	66.7	53.3	66.7	53.3	66.7	53.5	66.7	53.3	66.7	53.3	●
(1-2) 事業評価の結果について、市区町村や検診機関に対する説明会を開催しましたか	42.2	33.3	42.2	33.3	42.2	32.6	42.2	33.3	44.4	35.6	●
(2) 事業評価の結果に基づき、市区町村や検診機関に対して個別の指導・助言を実施しましたか <sup>注3)</sup>	60.0	55.6	62.2	57.8	62.2	60.5	62.2	55.6	62.2	55.6	●
(2-1) チェックリスト遵守度調査で、貴都道府県が設定した評価基準以下の市区町村への指導、助言を実施しましたか <sup>注3)</sup>	35.6	33.3	35.6	33.3	35.6	34.9	35.6	33.3	35.6	33.3	
(2-2) チェックリスト遵守度調査で、貴都道府県が設定した評価基準以下の検診機関への指導、助言を実施しましたか <sup>注3)</sup>	13.3	4.4	13.3	4.4	15.6	4.7	15.6	4.4	15.6	4.4	
解説: 個別検診受託医療機関に関しては、市区町村を介して検診機関に指導が行われていれば○とする(市区町村の指導内容を必ず確認すること)											
(2-3) 精検受診率が国の許容値以下(乳がんが80%未満、その他は70%未満)の市区町村への指導、助言を実施しましたか <sup>注3)</sup>	48.9	46.7	51.1	48.9	51.1	48.8	51.1	48.9	53.3	48.9	
(2-4) 精検受診率が国の許容値以下(乳がんが80%未満、その他は70%未満)の検診機関への指導、助言を実施しましたか <sup>注3)</sup>	13.3	11.1	15.6	11.1	13.3	11.6	13.3	11.1	17.8	11.1	
解説: 個別検診受託医療機関に関しては、市区町村を介して検診機関に指導が行われていれば○とする(市区町村の指導内容を必ず確認すること)											
<b>10. 事業評価の結果の公表 (平成28年度実施体制)</b>											
(1) 何らかの事業評価の結果を、個別の市区町村や検診機関の状況も含めてホームページで公表しましたか	77.8	68.9	77.8	68.9	75.6	69.8	77.8	68.9	77.8	68.9	●
解説: 協議会や、都道府県内部での検討の議事録や、事業評価のために使用した資料の一部など、何らかの内容が公表されていれば○とする											
(1a) 上記(1) はがん部会として公表しましたか	53.3	44.4	53.3	44.4	51.1	44.2	53.3	44.4	53.3	44.4	
(1-1) 市区町村のチェックリスト遵守状況をホームページで公表しましたか(市区町村名は必須です)	48.9	42.2	48.9	42.2	46.7	41.9	48.9	42.2	48.9	42.2	
(1-1a) 上記(1-1) はがん部会として公表しましたか	31.1	24.4	31.1	24.4	28.9	23.3	31.1	24.4	31.1	24.4	
(1-2) 検診機関のチェックリスト遵守状況をホームページで公表しましたか(検診機関名の有無は問いません)	40.0	17.8	40.0	17.8	37.8	18.6	40.0	20.0	40.0	20.0	
(1-2a) 上記(1-2) は全ての検診機関名を付けて公表しましたか	28.9	8.9	26.7	8.9	26.7	9.3	28.9	8.9	28.9	8.9	
(1-2b) 上記(1-2) はがん部会として、検診機関名を付けて公表しましたか	22.2	6.7	20.0	6.7	20.0	7.0	22.2	6.7	22.2	6.7	
(1-3) 市区町村のプロセス指標数値をホームページで公表しましたか(市区町村名は必須です)	68.9	60.0	68.9	60.0	66.7	60.5	68.9	60.0	68.9	60.0	
(1-3a) 上記(1-3) はがん部会として公表しましたか	46.7	37.8	46.7	37.8	44.4	37.2	46.7	37.8	46.7	37.8	
(1-4) 検診機関のプロセス指標数値をホームページで公表しましたか(検診機関名の有無は問いません)	13.3	11.1	13.3	11.1	11.1	11.6	13.3	11.1	13.3	11.1	
(1-4a) 上記(1-4) は全ての検診機関名を付けて公表しましたか	11.1	8.9	11.1	8.9	8.9	9.3	11.1	8.9	11.1	8.9	
(1-4b) 上記(1-4) はがん部会として、検診機関名を付けて公表しましたか	11.1	8.9	11.1	8.9	8.9	9.3	11.1	8.9	11.1	8.9	
(1-5) チェックリスト遵守度調査で、貴都道府県が設定した評価基準以下の市区町村に対する改善指導内容をホームページで公表しましたか <sup>注3)</sup> (指導先の市区町村名は必須です)	22.2	20.0	22.2	20.0	22.2	20.9	22.2	20.0	22.2	20.0	
(1-5a) 上記(1-5) はがん部会として公表しましたか	17.8	15.6	17.8	15.6	17.8	16.3	17.8	15.6	17.8	15.6	
(1-6) チェックリスト遵守度調査で、貴都道府県が設定した評価基準以下の検診機関に対する改善指導内容をホームページで公表しましたか <sup>注3)</sup> (指導先の検診機関名は必須です)	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	9.3	8.9	8.9	8.9	8.9	
(1-6a) 上記(1-6) はがん部会として公表しましたか	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	7.0	6.7	6.7	6.7	6.7	

※ ●事業評価のためのチェックリスト (単位: %)

	胃がん		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん		※
	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	
回答数: 45都道府県(肺がん個別検診実施は43都道府県)											
(1-7)	精検受診率が国の許容値以下(乳がんが80%未満、その他は70%未満)の市区町村に対する改善指導内容をホームページで公表しましたか <sup>注3)</sup> (指導先の市区町村名は必須です)										
(1-7a)	上記(1-7)はがん部会として公表しましたか										
(1-8)	精検受診率が国の許容値以下(乳がんが80%未満、その他は70%未満)の検診機関に対する改善指導内容をホームページで公表しましたか <sup>注3)</sup> (指導先の検診機関名は必須です)										
(1-8a)	上記(1-8)はがん部会として公表しましたか										
(1-9)	都道府県チェックリストの遵守状況をホームページで公表しましたか										
(1-9a)	上記(1-9)はがん部会として公表しましたか										

注3) 指導対象の市区町村、検診機関がなかったため公表しなかった場合は「対象なし」とご回答ください。(「対象なし」は上記の実施率集計には含んでいません。)

【注意事項】

- ・平成28年度に実施された内容(実績)に基づき、回答期間内に実施した場合は○、平成29年8月末日以降に確実な実施予定があるものは△、未実施かつ今後も実施予定が無い場合は×と回答していただくようお願いしましたが、本調査結果では○の実施率のみ集計しています。
- ・市区町村別、検診機関別等の設問では、全ての市区町村あるいは検診機関で実施している場合にのみ○とご回答いただきました。なお、本調査における検診機関とは、実際に検診を行う個々の検診機関(医療機関)を指します。
- ・胃がん検診については、胃内視鏡検査/胃部エックス線検査で共に体制を満たしている場合にのみ○と回答していただきました。(都道府県全体で胃部エックス線検査のみ実施している場合は、胃部エックス線検査の実施体制について回答をお願いします。)

【本調査の対象年度について】

平成28年度のがん検診ご担当者が把握可能な最新年度を想定し、下記を対象としました。

- ・平成28年度の検診体制(市区町村や検診機関のチェックリスト遵守状況)
- ・平成26年度の検診のプロセス指標<sup>※※</sup>

※※ 各都道府県の方針により、平成25年度のデータ(最新の地域保健・健康増進事業報告の公表値)や平成27年度のデータを集計・評価している場合もあり、本調査ではこの場合も可としています。